

「感染しない」「感染させない」を合言葉に

有田史談会 月例通信

コロナに負けない！

事務局 中村貞光
090-4740-4752



●有田史談会 HP へ GO！

坂井会長からのメッセージ♪

■ 5月に入り新緑の美しい季節になりました。会員の皆様、コロナにめげず元気にお過ごしでしょうか。私は5月上旬に高熱と頭痛を発症し、コロナが心配で病院の検査を受けました。陰性の診断で安心しましたが、万一のことを考え約2週間ほど自宅に籠り人との接触を避けて過ごしました。

さて、3年ぶりに開催された第118回有田陶器市の来客数は、商工会議所の発表によれば122万人。深川商工会議所会頭は、「天候に恵まれ、予想以上の人出になり、コロナ禍で沈んだ業界に回復の兆しが見えてきており、町にも活気が戻ってきている」と話され、5月4日の陶祖祭も韓国の福岡総領事をお迎えし3年ぶりに開催されました。

また、九州陶磁文化館の常設展示室がリニューアルされ、毎日大勢の入館者で賑わっていて私も早速出掛けました。「有田焼の歴史」と「柴田コレクション」を見て、疲れたら長椅子に座って外の景色を見ると色鮮やかな緑に心が安らぎました。皆様もどうぞ鑑賞下さい。

事務局の独り言(▽▽)

■ 九州陶磁文化館の常設展示室が4月9日に1980年の開館以来初めて「有田焼の歴史」としてリニューアルされましたが、皆様はご覧になりましたか？ 私は5月18日に夫婦で久しぶりに訪れました。



第一展示室入口

展示室入り口では、皿の形の大型スクリーンに江戸時代の有田焼や鍋島焼のデザインが次々に現れては変化する美しい映像がお出迎え！見入ってしまいました。

リニューアルされた展示室は、有田焼の始まりから現在に至るまでの約400年の歴史に沿った7つの項目①日本磁器の誕生、②技術の革新、③日本磁器の完成、④海を渡る、⑤暮らしを彩る、⑥新時代の幕開け、⑦今とこれからの小部屋に分けて紹介されています。

項目ごとに部屋の雰囲気が異なっていて、部屋を巡りながら有田焼のストーリーを体感出来ます。

平日で来館者も少なくゆっくり鑑賞できました。

リニューアル記念 特別企画展
海を渡った古伊万里
～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～
The Tragedy of Lovelace Castle
2022.5.28 Sat - 7.18 Mon
九州陶磁文化館
KYUSHU CERAMIC MUSEUM

さて、5月28日から7月18日まで特別企画展「海を渡った古伊万里」～ウィーン、ロースドルフ城の悲劇～が開催されます。本来ならば皆様とともに鑑賞したいのですが・・・。

中断している有田史談会の活動再開は秋頃を検討しています。もうしばらくの辛抱ですが、それまで充電をお願いします。

坂井勝也

